

## 四国西南部の篠山におけるコルリの幼鳥の観察例

佐藤重穂\*・岡井義明\*\*

Record of a juvenile Siberian Blue Robin *Luscinia cyane* on Mt. Sasa, southwestern Shikoku

SATO Shigeo\* and OKAI Yoshiaki\*\*

**Abstract** We report a record of a juvenile Siberian Blue Robin *Luscinia cyane* observed at Mt. Sasa, Ehime Prefecture, Japan, on 14 August 2005. This may represent an evidence of *L. cyane* breeding from Shikoku Island.

**Key words:** observed record, Shikoku Island, *Luscinia cyane*

### はじめに

コルリ *Luscinia cyane* は日本に夏鳥として渡来する体長約14cmのツグミ科の一種である。本種は日本列島および朝鮮半島, 中国東北部, シベリア東南部, サハリンなどで繁殖するアジア東部特産種であり, 日本国内では北海道, 南千島, 本州北・中部で繁殖する(日本鳥学会, 2000)。コルリは愛媛県および高知県のそれぞれの県版レッドデータブックにおいて絶滅危惧Ⅱ類に指定され(高知県レッドデータブック[動物編]編集委員会, 2002; 愛媛県貴重野生動物検討委員会, 2003), 四国においては希少な種である。しかし, 本種は暗い森林の地上近くをおもな生活場所にしており, 姿を見る機会が少ないため, 生活史や繁殖生態に関する情報は少ない(田村・上田, 2001)。四国においてはコルリは春と秋に通過する旅鳥とされているが, 夏期に見られることがあることが

ら繁殖の可能性が指摘されていた(和田, 1973; 石原, 1982; 石川ほか, 1995)。しかし, これまでに四国でコルリの繁殖記録は知られていない。

筆者の一人の岡井は2005年に愛媛県愛南町の篠山において, コルリの幼鳥を確認し, 写真を撮影したので, 報告する。

### 観 察 地

観察した場所は愛媛県愛南町の篠山である。篠山は愛南町と高知県宿毛市にまたがる四国西南部の山地であり, 山頂の標高は1064.6mで, 北緯33度03分10秒, 東経132度39分40秒に位置する。山頂部の周辺にはハリモミ *Picea polita* とモミ *Abies firma* の天然林があるが, それ以外は常緑広葉樹と落葉広葉樹の混生した天然林に覆われ, 一部にスギ *Cryptomeria japonica* とヒノキ *Chamaecyparis obtusa* の植林がある。

\*独立行政法人森林総合研究所四国支所

〒780-8077 高知市朝倉西町2-915

Shikoku Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute, 2-915 Asakura-nishimachi, Kochi 780-8077, Japan

\*\*日本野鳥の会高知支部所属

〒787-0786 宿毛市平田町東平1-17-2

Kochi Branch, Wild Bird Society of Japan, 1-17-2 Higashidaira, Hiratacho, Sukumo 787-0786, Japan

## 結果と考察

2005年8月14日に篠山の愛南町側において、岡井が鳥類の観察中にコルリ雄幼鳥1羽を確認して、写真を撮影した(Fig. 1)。コルリの観察された環境は、森林内を通る道路の脇の広葉樹の低木が多い場所であった。撮影された個体は頭部から背、腰および雨覆いにかけての上面の青色、腹部の白色と、のどから胸にかけての茶褐色のうろこ模様、および成鳥に比べて短めの尾羽などの特徴が認められた。コルリの幼羽の小雨覆は褐色で先にバフ赭色斑があり、第一回冬羽の雄では小雨覆は青色に富むとされる(山階, 1941)。さらに五百沢ほか(2000)によるコルリ雄の第一回冬羽個体の写真と照合した結果、篠山で撮影された個体はコルリ雄の第一回冬羽であることが確認できた。



Fig. 1. A juvenile male Siberian Blue Robin observed at Mt. Sasa, Ainan Town, Ehime Prefecture, on 14 August 2005. Photo by Y. Okai.

コルリの繁殖期は5月から7月であり(清棲, 1952; 田村・上田, 2001), 8月下旬から9月下旬ころに繁殖地から渡去する(清棲, 1952; 和田, 1973)。今回観察されたコルリの幼鳥は、2005年の繁殖期に生まれた個体であると考えられる。

清棲(1952)はコルリの繁殖地に四国と九州を含んでいるが、おそらく確実な繁殖記録が報告されていないことにより、日本鳥学会(2000)では採用されていない。また、石原(1982)、日本野鳥の会徳島県支部(1985)、日本野鳥の会愛媛県支部(1995)、日本野鳥の会香川県支部(1996)においても、四国でのコルリの繁殖の記録は報告

されていない。

筆者のうち、佐藤は四国の山岳域の森林で、以下にあげるように、これまでに繁殖期においてコルリの生息を確認している。

高知県物部村(現香美市)さおりヶ原 標高1,150m付近(2003年6月, 1個体)。

高知県本川村(現いの町)伊吹山 標高1,400m付近(2001年5月, 1個体)。

愛媛県西条市石鎚山土小屋 標高1,500m付近(2001年5月, 1個体)。

愛媛県柳谷村(現久万高原町)正木の森 標高1,250m付近(2002年6月, 1個体)。

これらのいずれの場所においても、頻繁なさえずりが確認された。

今回の篠山での幼鳥の確認記録と併せて、四国においてコルリが繁殖している可能性が示唆される。ただし、今回確認された個体は、本州以北の繁殖地において繁殖期の早い時期に生まれた幼鳥が8月中旬にすでに秋の渡りの途上であった可能性を否定できない。繁殖の確認には営巣、抱卵、餌運び、巣立ち直後の幼鳥などの確認が必要となる。

## 謝 辞

本報をまとめるにあたり、愛媛県総合科学博物館の山本貴仁氏には、四国におけるコルリのこれまでの記録についてご教示いただいた。記して厚く感謝申し上げます。

## 引用文献

- 愛媛県貴重野生動植物検討委員会(編). 2003. 愛媛県レッドデータブック. 愛媛県県民環境部環境局自然保護課, 松山市, 447pp.
- 五百沢日丸・山形則男・吉野俊幸. 2000. 日本の鳥550 山野の鳥. 文一総合出版, 東京, 359pp.
- 石原 保. 1982. 四国の野鳥誌. 築地書館, 東京, 190pp.
- 石川和男・大野 正・澤田佳長・柴折史昭・曾良寛武・森川國康・山本正幸. 1995. 四国の野鳥. 高知新聞社, 高知市, 215pp.
- 清棲幸保. 1952. 日本鳥類大図鑑第1巻. 大日本雄辯會講談社, 東京, 350pp.

高知県レッドデータブック〔動物編〕編集委員会（編）. 2002. 高知県レッドデータブック〔動物編〕. 高知県文化環境部環境保全課, 高知, 470pp.

日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録改訂第6版. 日本鳥学会, 帯広市, 345pp.

日本野鳥の会愛媛県支部（編）. 1995. 愛媛の野鳥観察ハンドブックはばたき改訂版. 愛媛新聞社, 松山市, 383pp.

日本野鳥の会香川県支部（編）. 1996. 香川の野鳥ウォッチングガイド. 四国新聞社, 高松市, 295pp.

日本野鳥の会徳島県支部. 1985. 徳島県野鳥図鑑. 徳島新聞社, 徳島市, 310pp.

田村 實・上田恵介. 2001. コルリの繁殖生態. *Strix*, 19: 11-20.

山階芳麿. 1941. 日本の鳥類と其生態第2巻. 岩波書店, 東京, 1080pp.

和田豊洲. 1973. 四国の野鳥. 高知営林局, 高知市, 157pp.

（原稿受理 2007年3月31日）